

めぐもりほっとぷれす30号記念企画

だけで、感情で話していたんです。それでは人には伝わらないのだということを学びました。

最近やっと自分が寂しいとか悲しいとか、自分の気持ちを言えるようになって。言ってみたら家族は、「知らなかった」「気が付かなかった」「もっと早く言えばいいのに」と言われました。

Cさん 自分を知るということかな。出来るかどうかは別として大事なことだと思っている。

自分の本音、本当は自分はどういう風に思っているのか、どういう風に考えているのか？って、そういうことをちゃんと自分でわかっていることが大事なんじゃないかと思う。まだ途上だけど。

めぐもりの今後

—どんな受け手を目指したいですか？

Aさん あなたの話が聴きたいですという態度を大事にして聴いていきたいです。

自分が気になったことを見逃さないで聴くことを、気を付けてやって行きたいと思います。

Cさん ちょっとわかったつもりになっちゃうことがあるのね。

「今、大変なんです」と言われて「大変なのね」と言っちゃううな。そうじゃなくなると、その人にとつて何がどう大変なのか、どう大変だと伝えたいのかとか・・・相手の本当の大きさがわかるまで聴けるようになっていかなと思ってるんです。ちよつとの言葉を聞き逃さないとか、具体的に聴いていくことになるんでしょうけど、分かったつもりにならないでちゃんと理解したい。

Bさん 私はこれまで勝手に自分が想像した言葉をこうだろうと自分から言ってしまうというのを気づかずにやってきていたみたいで。相手が話した少ない情報から勝手に想像して、確認もしないで「～なのですよね」と言ってしまうことがすごく多いのだと気づきました。

前に私ある人が、ただわかって欲しいだけだと言われていたのを聞いて、本当にその人が思っていると同じ位のところを分かって言うのは相当難しいことだと思えます。

こつちの思いが出てきたり、わかったつもりになったり、何かしてあげたくなったり、励ましたくなったり、そういうのがふつふつと出てきて。分かるだけで良いんだと言われるのだけどそれは結構

難しいことだなと思っています。

—地域の中でめぐもりがどういう存在であつたらいいですか？

Aさん 私は知り合いもなく、夫の帰日も遅い中で孤独に子育てを行ってきた。心配事がある時、めぐもりに電話さえすれば聴いてくれる、お母さんにとつて安心できる場があればどんなに救われるだろうと思う。

Bさん 私も子育ての時は孤独で大人の誰かと話したいと思つてた。幼稚園に行くとか誰かと話したいオーラを出している感じだった。この電話が掛けやすいと知つていれば、大人と話すことで寂しさが少し解消していたかもしれない。子育てしている時に電話で話せたら少しは元気になれたかな。

この電話、色々広報をしているけど、まだまだ知らない人が多いからみんなに知ってもらいたい

Aさん 3年前、一年の間に友人や身内3人が亡くなってしまつて。その時に話したい夫は帰りが遅かったり、子どもたちは用事で家にいなかったりで話せる人がいなくなつたんですね。職場でもみんな忙しいにしているし、ほんとにじっくり話を聴いてくれる人っていう

のはいそいでいないという感じ。消化できない気持ち・・それを誰かに話せたら、救われたのといふことはあります。

Cさん もつといろいろな人に知って欲しいなと。

私も転勤してきたので子供達が幼稚園や学校に行くようになったら友達もできるけどそれまでどうやって人と繋がって行ったら良いのか分らない。そういう人たちに分かつてもらえるように出来たらいいな。

—めぐもりの電話や活動をまだ知らない人たちに、これからも様々な場で知らせていきたいですね。

